

講義科目名称 : **プロジェクトI**
 英文科目名称 : **Projects I**

授業コード : **21251**



開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
影本 浩、堀 勉、石川 暁、松岡 和彦、古野 弘志			
1年次	工学部	週2時間	
添付ファイル			
 プロジェクトI 2022 ルーブリック.pdf			

授業概要	<p>受講者がテーマを見つけ、調査研究または製作などを行うものである（教員からも若干のテーマを提案する）。立案から計画・実施までを受講者が自主的に取り組むことで、工学者として必要な自ら考え行動する資質を養成すること目的とする。教員はあくまでも補助者として指導する。一人で行ってもよいし、数人でチームを組んでもよい。チームを組む場合（1チーム5名以下）は、学年が異なる組み合わせが望ましい（上級生の指示を受けて活動する）。</p> <p>【学位授与の方針・教育課程編成実施の方針の対応する教育目標（配当年次）】 船6、海6 その他の年度については、2019年度以前入学生は2019年に掲示された内容、2020年度以降入学生は入学年の履修ガイドを参照すること。また、系統図も参照すること。</p>
授業計画	<p>第1回 説明会（影本）</p> <p>第2回 テーマの検討・選定（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第3回 テーマに関する関連情報・資料の収集（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第4回 テーマに関する関連情報・資料の分析（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第5回 テーマに関する関連情報・資料についてのディスカッション（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第6回 具体的な活動テーマの選定（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第7回 活動テーマに関する情報収集・分析（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第8回 調査、実験、実習、製作、計算などの具体的な活動の計画立案（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第9回 活動計画に基づく具体的な活動：初期検討（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第10回 活動計画に基づく具体的な活動：詳細検討（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第11回 活動計画に基づく具体的な活動：活動の点検、必要に応じて軌道修正（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第12回 活動計画に基づく具体的な活動：仕上げ（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第13回 活動結果を踏まえた考察（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第14回 まとめ（影本、堀、石川、松岡、古野）</p> <p>第15回 発表会（影本、堀、石川、松岡、古野）</p>

授業形態	<p>調査研究や製作、フィールドワーク、数学や力学の理論計算、コンピュータ演習等、受講するテーマによって異なる。</p> <p>【アクティブラーニング】あり 受講者がテーマを見つけ、調査研究または実験、実習、製作、計算などを行う "ミニ研究" 形式の演習。一人で行ってよいし、数人でチームを組んでもよい。</p> <p>【情報機器利用】特に無し</p> <p>【成果物の提出についての学生へのフィードバック】 毎週の講義の時間に、指導教官より、各チームの調査研究または実験、実習、製作、計算などの進捗状況を確認し、活動の進め方、成果のとりまとめなどに対し、必要なアドバイスをを行う。</p> <p>【教育方法】 学生が、自分でテーマを見つけ、自分の手を使って調査やモノづくりなどを行う。また、最後にその成果を報告書（ポスター）にまとめ、プレゼンテーションを行う。</p> <p>【実務経験の活用】あり 授業内容は、教員の造船所における実務経験を反映した実践的なものとしている。</p> <p>【特別な事情により対面授業が実施できない場合の形態】 Google Classroomを基本に会議システムソフト「meet」を使用予定</p>
達成目標	<p>工学者として必要な自ら考え行動する資質を養成するために、以下を目標に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト活動で何を学ぶのか、修得するのかについての計画を立案し、それを説明することが出来る。 ・実施内容の進捗を確認しながら、予定通り活動を進めることが出来る。 ・活動した成果をとりまとめ、発表会で報告することが出来る。 ・チームメイトと共同して課題解決活動を進めることが出来る。
評価方法	<p>課題への取り組み状況・態度、成果物（作品、報告書あるいは発表会での発表資料）を総合的に評価する。 配分は、課題への取り組み状況・態度による平常点で40%、成果物の提出を60%で評価する。</p>
評価基準	<p>【2018年度以前入学生】優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>【2019年度以降入学生】S,A,B,C,Dの5種類をもってこれを表し、Sは90点から100点、Aは80点から89点、Bは70点から79点、Cは60点から69点、Dは59点以下とし、S,A,B,Cを合格、Dを不合格とする。 詳細はルーブリックを参照すること。</p>
教科書・参考書	特に無し。
履修条件	<p>【前提となる授業科目】特に無し。 系統図を必ず参照すること。</p>
履修上の注意	特に無し。
予習・復習	<p>予習：授業と同程度の時間を使い、計画に従って実施するために必要なことを事前に検討しておくこと。</p> <p>復習：授業と同程度の時間を使い、授業での活動メモをもとに活動結果をまとめ、予定通りことが進んだかどうか検証する。進んでいない場合は、その原因を明らかにすること。万が一欠席した場合は、復習の時間を使って計画からの遅れを挽回する活動を実施すること。</p>
オフィスアワー	<p>金曜2限。 その他の時間帯でも、質問など、何時でも対応します。 掲示やAAAシステム、Google Classroomの情報も参照すること。</p>
備考・メッセージ	<p>・不明な点があれば、過去の内容でも構わないので積極的に質問して欲しい。授業中の質問を奨励するが、授業以外の時間でも、いつでも対応します。</p>